静岡景観

井伊家千年のドラマを語り継ぐ名刹

龍潭寺

（浜松市北区）

たおやかで美しい寺社庭園の中に浮かぶ深紅のカエデ。奥浜名湖の山中にたたずむ龍潭寺は、秋が深まると見事な紅葉に包まれる。

龍潭寺は徳川四天王の1人として家康に仕えた井伊直政、幕末に日本を開国へ導いた井伊直弼など、歴史に名を残す人物を数多く輩出した井伊家の菩提寺だ。近年は女性城主として戦国時代を生き抜いた井伊直虎が眠る寺として知られ、平成29年に放送されるNHK大河ドラマの舞台にもなっている。1万坪を超える境内には1631年に建立された開山堂や庫裡などがあり、連綿と続く歴史を静かに物語る。中でも昭和11年に国指定の名勝となった池泉鑑賞式庭園は、江戸時代の作庭家として名高い小堀遠州の設計と言われ、訪れる者の心身を魅了する。

「井伊家は清貧の教えを説いてきた家柄。華美な表現を嫌う価値観は日本人の美意識の礎にもなっています」と語るのは現住職の武藤宗甫さんだ。その言葉通り、龍潭寺のたたずまいは質素を旨とする、控えめな美しさを秘めている。だからこそ秋に色づく紅葉が映える。

寺伝によれば同寺は733年、行基によって開創され、1010年に井伊共保が付近にある井戸で拾われて以来、井伊家の菩提寺として現在に至る。国指定重要文化財「宋版錦繡萬花谷」（金沢文庫由来）や県指定文化財金屏風「遊楽の図」などの寺宝も数多く所蔵しているため、多くの来場者が季節を問わず、歴史散策に訪れている。

井伊家千余年のドラマを彩る龍潭寺の紅葉。ピークを迎えるのは毎年11月下旬から12月上旬だ。

鐘楼堂の手前から紅葉を眺める。境内の散策に要する時間は40～50分が目安。

江戸時代初期、本堂北庭として築かれた池泉鑑賞式庭園。遥拝の庭。奥に見える井伊家御霊屋は、西方浄土を表す。

龍潭寺（りょうたんじ）

静岡県浜松市北区引佐町井伊谷1989
電話／053-542-0480
開園時間／9:00～16:30（17:00閉門）
拝観料／大人（高校生以上）500円、小人（小中学生）200円
休館日／8月15日、12月22～27日、臨時休館あり
http://www.ryotanji.com
新東名・浜松いなさICより車で約15分

現住職の武藤宗甫（そうほ）さん。「井伊家を語る時、直虎、直政、直弼の3人を外すことはできません」

御霊堂に並ぶ井伊家の位牌。正面右から元祖共保、22代直盛、24代直政。歴史的に非常に貴重と言われる。

参拝者が絶えない井伊家の墓所。正面右側が共保、左列の右から2番目が直虎の墓石。この奥に戦国武将が眠る墓所もある。

井伊直弼が着座した庫裡から見た庭園。視線の先に御霊堂と墓所が一直線上に並ぶ設計。

◎目次

1 静岡景観 龍潭寺
3 ◆知事鼎談 アジアと太平洋の未来について 平和活動家・歴史家・元上院議員 ラジモハン・ガンジー氏
（公社）国際IC日本協会会長 経済人コー円卓会議日本委員会会長 矢野弘典氏 鼎談
7 ◆知事対談 地域総がかりで静岡の美しい景観を未来につなぐ 東京大学教授 武内和彦氏 対談
11 スポーツ王国しずおか 東京オリンピック・パラリンピック 事前キャンプの誘致活動が本格化
13 ふじのくにの地域外交 通商拡大に向けた新たなステージ
15 ◆県政特集 富士山麓から世界へ！ ファルマバレーの新拠点が誕生
17 ふじのくにブランド するがの柿（四ツ溝柿）
18 しずおか暮らし 久米 歩さん